

編集後記

『紅萌』18号をお届けします。本号から編集者を替えて、誌面構成を変更しました。まず表紙。京都大学のキャンパスを意外な角度から切り取った写真を表紙としました。日頃見慣れたキャンパスが新鮮に見えるのが不思議です。また、各界で活躍されている京都大学OBの方にご登場いただくことし、福岡伸一さんには巻頭エッセイをご寄稿いただき、綾辻行人さんは京大にお招きしてインタビューしました。

巻頭座談会では白眉プロジェクトの第1期生のお話を伺いました。第1期生18名の中から取材に応じてくださった3名は、それぞれ分野の異なる研究者です。しかし、京都大学の「自由の学風」の良さを守り、そして発展させてくださる点では共通したパーソナリティをもっていらっしゃると思いました。

田中耕治先生と西岡加名恵先生には教育評価に関する研究の最新情報を寄稿いただきました。「教師が自分の教育実践を評価する」ことが教育評価の第一義的な意味である。たいへん耳の痛い話ではありますが、明日の教育をより良いものにするためにはよく考えるべきことです。

「授業に潜入！『おもしろ学問』講義録」というコーナーを設けました。初回は田中真介先生の「発達論」（全学共通科目）の潜入レポートです。一方的な講義ではなく、ビデオ教材を交えての学生との議論が進められる講義。また学生に戻ってこんな講義を受けてみたいと思う方も大勢いらっしゃるのではないのでしょうか。

「ふりかえれば未来——モノ語る京大の歴史」は西山伸先生の「学徒兵からの手紙——秘められた静かなる覚悟」。京都大学百周年時計台記念館1階の歴史展示室に常設展示されている、京都大学から学徒出陣し、戦死した青年の手紙についての話です。4,768名の京大生が学徒兵として出陣、264名が戦没したという事実。この編集後記を執筆の日、繰り返してはならない過去を京都大学の歴史の中に刻んでおかなければならないと感じた65回目の終戦記念日でした。

2010年9月
広報委員会『紅萌』編集専門部会

京都大学広報誌 紅萌 — 第18号

2010(平成22)年9月25日発行

編集：京都大学広報委員会
『紅萌』編集専門部会

発行：京都大学総務部広報課
〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL 075-753-2071
FAX 075-753-2094
URL <http://www.kyoto-u.ac.jp/>
E-mail kohho52@mail.adm.kyoto-u.ac.jp

制作協力 京都通信社
デザイン 柴永事務所

『紅萌』の既刊号は、次のURLで閲覧できます。
<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/issue/kurenai/index.htm>
©2010 京都大学(本誌記事の無断転載・放送を禁じます)

附置研究所・センターの活動を紹介する「品川セミナー」を開催

2010年6月4日(金)に「京都大学東京オフィス」(東京都港区)にて、第1回「品川セミナー」を開催しました。

品川セミナーは、本学に設置された22の附置研究所およびセンターでの最先端の研究活動のようすを広く一般の方がたに知っていただくこと、毎月1回第1金曜日の夕方に、「京都大学東京オフィス」で開催している連続セミナーです。第1回は、松沢哲郎 豊長類 研究所長が「人間とは何か——チンパンジーとの比較から」と題して講演。サイエンス・カフェ風のくつろいだ雰囲気の中で、最新の研究成果について



での松沢所長のわかりやすい解説に、参加者は興味深く聞き入っていました。

第2回の7月2日(金)は、清水展 東南アジア研究所長が「グローバル化って何だろう——フィリピン山奥の世界遺産の棚田村から見たら」と題して開催。今後も継続して、2012年3月2日(金)の第22回まで開催する予定です。

*「品川セミナー」に関する詳細は、
http://www.kuic.jp/top_sinagawa.html まで

「科学・技術フェスタ in 京都」——平成22年度産学官連携推進会議」に出展



京都大学は、6月5日(土)に国立京都国際会館で開催された「科学・技術フェスタ in 京都——平成22年度産学官連携推進会議」に出展しました。産学官連携推進会議は、科学・技術の重要性や産学官連携の成果を国民に広くアピールすることを目的に、毎年1回京都で開催されているイベントです。

本年度は、「科学・技術フェスタ in 京都」として装いを新たに、現在政府で検討中の「グリーン・イノベーション」や「ライフ・イノベーション」などを柱とする「新成長戦略」がテーマとして取り上げられたほか、産学官連携によるシーズとニーズのマッチング、高校生から一般市民を対象とした科学実験教室など、各種企

第61回京都大学・東京大学対校競漕大会を開催

6月20日(日)、第61回京都大学・東京大学対校競漕大会が津市・瀬田川にて開催されました。当日は大雨の中での開会式でしたが、対校レースが開始されるころには雨も上がり、松本紘総長も観戦するなかで、熱戦が繰り広げられました。

女子クォドルブルを含む対校4レースにおいて、京都大学ボート部は3勝1敗で勝ち越し、メインレースの対校エイトレース(3,200m)では、2009年に引き続き京都大学が勝利しました。

今回、京都大学ボート部は新しい試みとして、「WiMAX高速大容量通信システム」を利用した実況放映を行ないました。伴走艇や橋上、川岸からレースをビデオ撮影して、パソコンを通じて送信し、艇庫屋上観覧席に設置した大型ディスプレイ4台で放映しました。このWiMAX映像中継は、現役ボート部員や

